



阪神・淡路大震災と四川大地震からの教訓

～国際社会の防災をリードする若者たち～

共同声明

兵庫と四川が経験した2つの震災。経験が100年後、200年後の未来でも生かされるために。様々な活動を進めていきたいと思ひます。

私達は、防災には、「地域コミュニティ」の力が大切だということに気付きました。一見、防災とは関係ないイベントでもいろんな世代の人たちと出会える場が、災害時の力になる。

そのために、今ある地域のイベントを「つくる側」に参加をしていきたいと思ひます。「いろんな世代の人」が「得意分野を生かして」「継続的に」関わっていけるようなイベントのしかけをつくっていくこと。

これが、私達が行いたいことの一つです。

2つ目は、震災の経験を伝えること。防災を広めていくこと。

大人はもちろん、私達より年齢が下の子にも伝えていかないと、阪神・淡路大震災の経験も四川大地震の経験もどこかで途切れてしまいます。

そのために私達は、たくさんの人に私達の震災の経験を知ってもらい、防災の大切さに気付いてもらう、「語り継ぐ」活動を進めていきたいと思ひています。

そして、それだけではなくこれからは、「防災の大切さ」に気付いた人に、どんどん「伝える」側になってもらえるよう、そんな活動を展開していきたいと思ひます。

そして、最後に、私達は、経験を世界中の人たちにも伝えていきたいと思ひます。未来だけでなく、現在、ハイチで起こった地震の被害で、苦しんでいる人たちがたくさんいます。そのために、私達は自分たちの経験を日本と中国だけにとどめるのではなく、世界の人たちに伝える必要があることに気付きました。そして、私達は世界の災害から様々な経験を学んでいきたいです。

今回のような世界の人と繋がるイベントを通じて、多くの人たちと学び合うことができました。

私達若者は、「わたしたちにできること」の第一歩を踏み出し、少しずつ活動を進めていきます。そこで、大人の皆さんには、私達の活動が発展できるようサポートをしていただきたい、というお願いをして私達の共同声明とさせていただきます。

2010年1月24日（日）神戸学院大学にて



来自阪神・淡路特大震灾与四川特大震灾的教训

～带领国际社会防灾活动的青年人～

共 同 声 明

为了让兵库县和四川省的震灾中总结出来的经验和教训能够给 100 年，200 年的后世带来智慧和力量。我们决心今后将致力于防灾事业的实践和发展。

首先，我们通过交流，意识到“地域和社区”的重要性。比如我们可以尝试在我们身边举办各个年龄阶段都能参加的活动。我们希望通过参加这样的活动，可以建立起温暖互助的人际关系。我们相信在灾害时这样的人际关系可以成为很强大的互帮互助的力量。为每个人带来信心和勇气。同时持续参与这样的活动，可以让每个人都能主动的关怀他人，理解他人的能力。

这是我们今后想要进行的实践活动之一。

其次，我们希望通过我们的活动，把防灾的意义和理念推广到社会各界。通过介绍我们的震灾经验，可以让更多的人意识到防灾的重要性，让更多的人站到我们的身边来，成为我们的一员，为防灾教育的推广做出贡献。如果只有社会上的大人从事这样的工作，而青少年不去关心的话，阪神大震灾和四川大地震的经验教训就无法传递下去。

最后，我们还希望把我们的经验和世界其他国家和地区的人去分享。这不只是未来的梦想，而是我们现在的使命，现在海地发生了很大的地震，很多人正在水深火热之中生活。我们希望我们能把我们的经验传递到世界的另一端，传递到其他国家的朋友那里。而且希望从他们身上学到更多的东西。

我们通过这样的交流活动，学到了很多东西。

我们这些年轻人，决心从我们能做的一点小事出发，积极的为世界的防灾事业做出自己的贡献。并且希望得到社会各界的理解，帮助和支持。

2010 年 1 月 24 日（日）神戸学院大学